



平素より格別のご高配を賜り、
厚く御礼申し上げます。
2025年度上期の主な取組みにつきまして、
株主の皆さまへご報告申し上げます。

KDDI株式会社
代表取締役社長 CEO

まつだ ひろみち
松田 浩路

2025年度上期の業績は、連結売上高2兆9,632億円（前年同期比3.8%増）、当期利益3,777億円（前年同期比7.6%増）の増収増益、ともに過去最高値となりました。期初の業績予想の達成に向けて着実に進捗しております。

当社は社会インフラを担う企業の責務として、これまでネットワークの通信品質向上に積極的に投資してまいりました。お客さまの体験価値向上を重要な柱として取り組み、Opensignal社が実施する通信体感分析の日本市場での「モバイル・ネットワーク・ユーザー体感レポート」において、この10月に3期連続で国内最多の部門で1位*1を獲得しました。

加えて、更なるエリア拡大の取組みとして、「au Starlink Direct」の提供を開始いたしました。衛星とスマートフォンを直接接続することで、山間部や海上等でもメッセージやデータ通信が可能となりました。既に280万人*2を超えるお客さまにご利用いただいております。これら通信の高い価値を内包した新料金プランも6月より開始し、「圏外に行っても、海外に行っても、混雑した場所に行っても安心」という3つの安心をお客

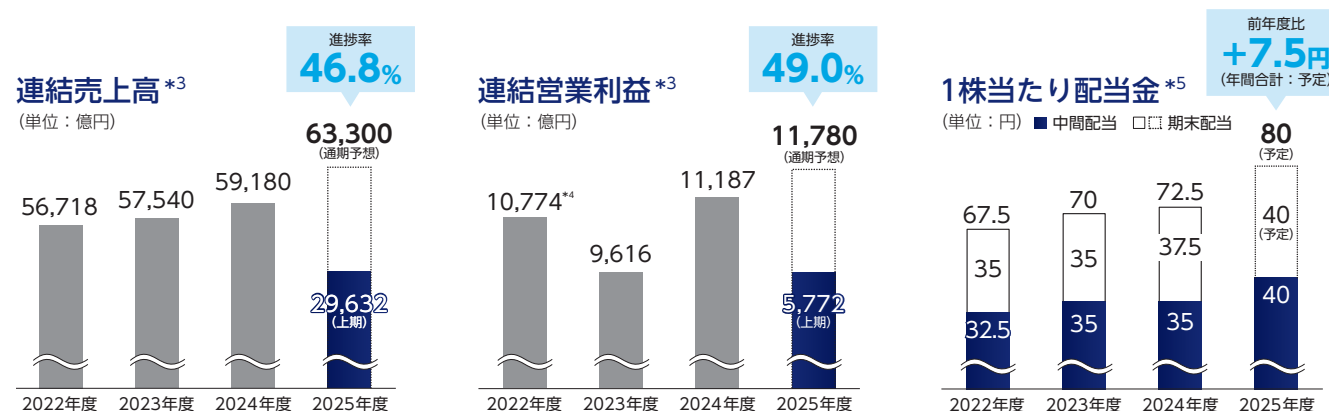
さまにお届けし、大変ご好評をいただいております。（本プランの内容詳細については、次ページをご参照ください）。これからもお客さまへの価値提供の根幹となる「つなぐチカラ」の進化を磨き上げてまいります。

法人事業は、モバイル事業、IoT事業、データセンター事業が順調だった一方、BPO事業やSI関連事業の伸び悩みによって、期初予想を下回りました。しかし、これまでの課題は着実に改善が進んでおり、下期は更なる成長を目指してまいります。

本年度は現中期経営戦略の最終年度でありますので、通期目標の達成を成し遂げると共に、次の成長に向けた取組みを進めることで、次期中期経営戦略での更なる飛躍につなげてまいります。株主の皆さまにおかれましては、今後もより一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

*1 日本：モバイル・ネットワーク・エクスペリエンス、2025年10月 - Opensignal社の国内主要MNO4社を比較した直近過去2回の2025年4月（データ提供期間：2025年1月1日～3月31日）と2024年10月（データ提供期間：2024年7月1日～9月28日）のレポートにおいても、auは、「一貫した品質」（2025年4月 レポートでは項目なし）及び「信頼性エクスペリエンス」評価などで1位を獲得。

*2 2025年4月10日～11月11日の実績（ユニークユーザー）。



*3 IFRSを適用しています。また、億円未満を四捨五入して表示しています。

*4 IFRS第7号「保険契約」を2023年度から適用しており、2022年度の実績は当該会計基準を遡って適用した後の数値を記載しています。

*5 2025年4月1日付で株式分割（2分割）を行っており、過去の配当は分割後の1株当たり相当額を記載しています（小数点第2位を四捨五入）。

決算情報などの詳細はウェブサイトをご参照ください▶



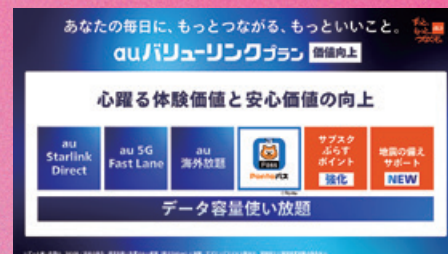
NEWS

au Starlink Directをご利用可能 au バリューリンクプランがスタート

当社は本年6月から、auのスマートフォン向け料金プラン「au バリューリンクプラン」（以下 本プラン）を提供開始しました。本プランは、データ通信が使い放題^{*1}であることに加え、圏外／混雑時／海外でも安心・快適にご利用いただけるサービスがセットとなった、auの代表的な料金プランであり、お客さまからも大変ご好評をいただいております。本プランの特長である5つのサービスと、本プランの背景となる考え方である「経済の好循環」についてご紹介します。



詳細はこちら



©Ponta

サービス
1

au Starlink Direct

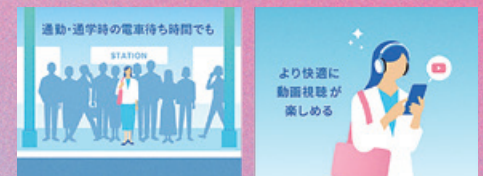
空が見える状況であれば圏外エリアで通信できる、衛星とスマートフォンの直接通信サービスです。対象機種にて、メッセージアプリに加え、一部アプリのデータ通信が利用可能です。（本プランをご利用のお客さま以外も、本サービスをご利用いただけます。次ページにてサービスの詳細をご紹介します）



サービス
2

au 5G Fast Lane

混雑する駅の電車待ち時間における動画視聴や、フェス・イベントにおけるSNS投稿など、混雑した環境でも5Gデータ通信をより快適にご利用いただけるサービスです。*2



サービス
3

au海外放題

日本でご利用中のauスマートフォンを海外でも、データ使い放題^{*3}でご利用いただけます。通常、1日あたり1,200円でご提供していますが、本プランでは追加料金なしでご利用いただけます（1カ月あたり15日分まで）*3。



サービス
4

サブスクぶらすポイント

対象のサブスクリプションサービスへの加入で、対象サービスの月額料金（税抜）の20%のPontaポイントを還元します。



サービス
5

Pontaパス

ローソンで毎週ご利用いただける無料・割引クーポンの提供やPontaポイントの還元率上乘せなど、ローソンでのお買い物がさらにオトクになる、サブスクリプションサービスです。通常、月額548円でご提供していますが、本プランでは追加料金なしでご利用いただけます。



上記に加え、サービス内容をさらに強化し、震度7の地震発生時に3万円の保険金を受け取れる「地震の備えサポート*4」も年内に提供開始する予定です。

経済の好循環

当社は、安定的かつ高品質な通信・AIサービスを核にお客さまに価値あるサービスを提供し、価値に見合う対価を糧にパートナー様への還元や投資を進めるといふ、経済の好循環の実現を目指しています。例えば、本プランのように価値のあるサービスの提供を通じていただいた対価を、取引先・代理店等のパートナー様に還元するとともに、ネットワークの高度化・AI等の未来に向けた投資を進めることで、社会の持続的成長と企業価値の向上を実現していきます。



*1 テザリング、データシェアのご利用にはデータ容量の上限があります。月間データ利用量が200GBを超えた場合、当月末までの通信速度を通常のご利用に影響のない範囲（最大5Mbps）に制限します。なお、当社設備などの状況により、制限の適用が遅れる場合または適用されない場合があります。混雑時間帯は通信速度を制限する場合があります。

*2 対象プランで5G SA契約/5G SA対応の対象スマートフォンが必要です。また、環境によりau 5G Fast Laneによる効果が体感し難い場合があります。

*3 毎月18,000円を上限に海外放題の利用料を割引します。当日利用（1,200円/日）の場合は15日分が無料です。なお、一定期間内（24時間単位）に大量のデータ通信があった場合、通信速度を制限することがあります。

*4 KDDIが保険契約者となり、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社を引受保険会社とする震度運動型地震諸費用保険のペットネームです。保険金は引受保険会社からお客さまへ支払われます。なお、ご利用にはあらかじめ所定の手続きが必要です。手続方法はサービス提供時に改めてご案内します。

日常がつながる

非日常がつながる

空が見えればどこでもつながる

通信は、もはや生活やビジネスに欠かすことのできないインフラの一つとなっています。だからこそ当社は、「『日常』も、『非日常』もつなぐ。」ことにこだわってきました。今回は、新技術による通信の新たな価値や、より快適な通信を提供する当社の取り組みをご紹介します。

au Starlink Direct

詳細はこちら



当社と沖縄セルラー電話株式会社は、本年4月から、日本初*1となる衛星とスマートフォン端末（以下「端末」）の直接通信サービス「au Starlink Direct」（以下「本サービス」）を提供しています。

本サービスは、高度約340km（東京・琵琶湖間の距離に相当）に位置する通信衛星と端末が直接通信するサービスであり、既存の地上通信で使用している周波数の一部を衛星通信用に割り当てることで、お持ちの端末でそのままご利用いただくことが可能です。また、地上通信の圏外で通信衛星を捕捉すると、端末の衛星モードが起動し、衛星通信に最適化された通信が自動で可能となります。

本年4月の提供開始時点では、ご利用可能なサービスが「テキストメッセージ送受信」「現在地の位置情報共有」等に限定されておりましたが、8月からは世界発となる衛星データ通信を開始し、9月にはiPhoneでも衛星データ通信のご利用が可能となりました。引き続き、自社の技術力の活用とパートナーとの共創により、「空が見えれば、どこでもつながる。」体験を通じて、つながる安心をより多くのお客さまに提供していきます。

*1 国内通信キャリアによる提供サービスとしては、auが初となります（KDDI調べ）。



世界的にも評価される当社の通信品質

国内における通信体感分析の詳細はこちら



グローバルにおける通信体感分析の詳細はこちら



当社は、基地局出力増強やアンテナ最適化に加え、業界最多の約5.6万局のSub6/ミリ波基地局*2の展開を通じ、5Gの大容量・高速通信を実現するSub6の利用可能エリアの拡大や、5Gの次世代通信サービスである5G SA（スタンドアローン）*3の提供を進めています。また、4G LTEを含めたネットワーク全体の最適化や、通信速度（スループット）の向上や遅延（レイテンシ）の改善にも日々努力しています。

こうした取り組みの結果、Opensignal社の通信体感分析では、日本市場の「モバイル・ネットワーク・ユーザー体感レポート」において、3期連続で国内最多の部門で1位*4を獲得したほか、グローバルの「グローバル・モバイル・ネットワーク・エクスペリエンス・アワード2025」においても、6部門中3部門で世界1位*5を獲得するなど、当社の通信品質は世界的にも高い評価を受けています。

今後もエリア拡大や日々の通信品質改善を重ね、マルチブランドでお客さまにNo.1の通信品質を提供していきます。

*2 国内MNO4キャリア比較。2025年10月10日時点で総務省無線局等情報検索にて閲覧できる免許数。

*3 5G SAは、コア設備や基地局なども含めて5G専用の技術と設備で構成した5Gサービスです。5G SAにより、5Gの高速・大容量の通信に加え、ネットワークスライシングなど5G特有の機能を活用したサービスを利用できるようになります。

*4 日本：モバイル・ネットワーク・エクスペリエンス。2025年10月 - Opensignal社の国内主要MNO4社を比較した直近過去2回の2025年4月（データ提供期間：2025年1月1日～3月31日）と2024年10月（データ提供期間：2024年7月1日～9月28日）のレポートにおいても、auは、「一貫した品質」（2025年4月レポートでは項目なし）及び「信頼性エクスペリエンス」評価などで1位を獲得。

*5 2025年2月27日Opensignal社発表「グローバル・モバイル・ネットワーク・エクスペリエンス・アワード2025」による。同発表では、通信事業者は、Large land areaグループとSmall land areaグループに分類され評価されています。Large land areaグループは、土地面積あたり200,000km²以上の国・地域における通信事業者で構成。Small land areaグループは、土地面積あたり200,000km²未満の国・地域における通信事業者で構成されています。KDDIのグローバル・アワード受賞結果はLarge land areaグループに基づいたものです。



モバイル・ネットワーク・ユーザー体感レポート

国内 1位
(3期連続最多部門)

グローバル・モバイル・ネットワーク・エクスペリエンス・アワード2025

世界 1位
(6部門中3部門)

ミリ波を活用した新たなサービスの創出

ミリ波とは

当社は、より安定した高品質な通信サービスの提供に向けて、ミリ波（28GHz帯）を活用する取り組みを進めています。ミリ波とは、5G通信で主に使用されているSub6（3.7GHz帯、4.0GHz帯）よりもさらに高い周波数帯であり、活用することでより高速で安定した通信が可能となります。しかし、その周波数特性上、電波の届く範囲が狭く、障害物の影響を受けやすいという課題があるため、技術的ハードルの高さから、これまでは限定的な活用にとどまっていた。

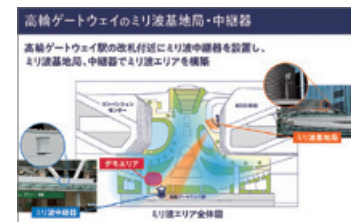


当社の取り組み

これに対し当社は、ミリ波エリアを飛躍的に拡大する無線中継技術を開発しました。本技術を搭載したミリ波中継器を京セラ株式会社と共同で開発し、東京都の西新宿ビル街への展開、東日本旅客鉄道株式会社（以下「JR東日本」）と協力した新宿駅での実証実験、大阪・関西万博会場への展開などを通じて、ミリ波の活用拡大に向けた取り組みを進めてきました。

さらに、ミリ波を活用した新たな取り組みとして、ミリ波中継器を用いて高輪ゲートウェイ駅前にミリ波エリアを整備し、本年10月に開催した「KDDI SUMMIT 2025」にて、JR東日本、Netflix合同会社（以下「Netflix」）と共同で、鉄道事業における様々なシーンでのミリ波活用に向けて、Netflixの映画・ドラマを超高速でダウンロードいただける「1秒1話ダウンロードデモ」を実施しました。本取り組みが実用化すると、駅や空港の混雑したエリアでも大容量の映像コンテンツが高速でダウンロードでき、ユーザーが移動中でもオフラインで快適にコンテンツを楽しむことが可能となります。

当社は今後もミリ波をはじめとする5Gの高度化技術の拡大・普及に取り組み、高品質な通信サービスの提供とお客さまの利便性向上に取組みます。



©Expo 2025



当社の5Gへの取り組みの詳細はこちら

当社は本年7月、TAKANAWA GATEWAY CITYへ本社を移転し、JR東日本や株式会社ローソンをはじめとするパートナーとともに、AIやIoTを活用し、「あなたに気付く街 みんなで築く街」をコンセプトにした未来への実験を開始しました。街で提供している新たな体験の一部をご紹介します。



高輪新本社の詳細はこちら

街に訪れる人に提供する「ハイパー・パーソナル体験」

タッチトリガーとの連携

高輪ゲートウェイ駅の改札を出ると、「TAKANAWA-GATEWAY CITYアプリ」を通じて、個人の趣味嗜好に合わせてパーソナライズされた情報が配信されます。



回遊ロボット

街を訪れた人の属性をAIで分析し、好みに合わせたサンプルの配布や商品販売を実施することで、潜在的なニーズへのリーチが可能となります。



街で働く人に提供する「ハイパー・パフォーマンス体験」

執務室内のロボット活用

ロボットを活用したショールーム案内や社内便の配送等、先進技術を活用したサービスを導入し、街とオフィスを連携することで、オフィスで働く体験価値を向上していきます。



新たな執務エリア

イノベーション創出につながるオープンなコラボレーションができるエリアを設けているほか、業務内容や特性に応じて社員自身が働く場所を選択できるABW(アクティビティ・ベースド・ワーキング)の取組みを進めています。



「Real×Tech LAWSON」1号店をオープン

当社の本社が入居する「TAKANAWA GATEWAY CITY」の「THE LINKPILLER 1 NORTH」の6階に「ローソン高輪ゲートウェイシティ店」、17階の社員専用エリアにオフィス特化型の「ローソン S KDDI高輪本社店」がオープンし、未来のコンビニの実証実験が本格的にスタートしました。

ローソン 高輪ゲートウェイシティ店

本店舗では、データと連動したデジタルサイネージや、AIを活用した「Pontaよろず相談所」の設置、店舗運営へのロボットの活用など、リアルな温かみとテックの力を融合させたお買い物体験を提供しています。



詳細はこちら



ローソン S KDDI高輪本社店

本店舗では、専用アプリを活用したスマホレジによる決済やパーソナライズされた商品レコメンド、配送ロボットによる回遊販売・デリバリーなど、オフィスに特化した実験店舗としてチャレンジングなテック検証を積極的に行っています。



詳細はこちら



TOPICS

TOPIC 01

高輪新本社におけるサステナビリティ

当社は高輪新本社において、省エネ・創エネ・エネルギーマネジメントの仕組みを実装するとともに、再生可能エネルギー証書の活用により、使用する電力を実質再生可能エネルギー由来とすることで、CO₂排出量「実質ゼロ」を実現しています。

高輪新本社は、使用電力を全て再生可能エネルギー由来にすることを目指す国際企業連合「RE100」へ対応しているほか、世界中で利用されている環境認証「LEED」も取得しています。

これらを通じて、CO₂排出量「実質ゼロ」を実現するとともに、環境先導のサステナブルなまちづくりをJR東日本とともに推進してまいります。



高輪ビル外観

Dining & Cafeでのサステナブルな取組み



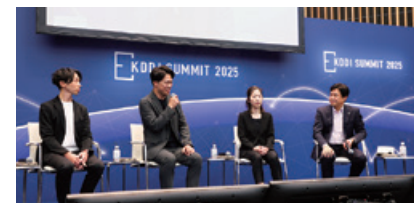
高輪新本社にある「K-Dining」と「K-Café」では、食品・食材廃棄量のデジタル管理によるフードロス削減の取組みや、環境に配慮した食材・容器の利用等を通じて、社員が日々の食事を通じて環境にやさしい取組みを実践できる場を提供しています。

TOPIC 02

社員が夢中に挑戦できる風土の醸成

10月30日に、当社グループ最大級のビジネスイベント「KDDI SUMMIT 2025」の3日目として、当社グループ社員限定のイベントを開催しました。

社員が仲間の「夢中」に触れられる企画として社員限定ステージを実施し、大盛況となりました。このようなイベントを通じて会社全体の一体感を高め、持続的な成長に繋げていきます。



社長賞受賞者と社長の対談企画！



新規事業アイデアのプレゼン大会！



社員それぞれの「夢中」をアピール！

TOPIC 03

大阪・関西万博開幕

10月13日をもって、184日間にわたって開催された「大阪・関西万博」が閉幕しました。当社と株式会社日立製作所（以下「日立」）が「Mirai Meeting（ミライミーティング）」を共同展示したパビリオン「未来の都市」には、約190万人の方にご来館いただきました。また、9月には株主通信2025年夏号との連動企画で、150組300名の株主さまに「未来の都市」へご来館いただきました。

当社と日立は、今回の展示を一過性のものととどめることなく、価値ある資産として次世代に継承するため、展示の移設やコンテンツの再活用について検討を進めています。「共創による社会づくり」という考え方を大阪・関西万博のレガシーとして継承し、人々が生き生きと暮らす人間中心の社会であるSociety 5.0の実現に向けて取り組んでいきます。



©Expo 2025

プレゼントのご案内



アンケートにご回答いただいた株主さまの中から抽選で、以下の当社関連グッズをプレゼントいたします。
アンケートの詳細は本ページ中段の「株主さまアンケート」の記載をご確認ください。

KDDIオリジナルグッズ（フタつきタンブラー） 100名さま

KDDI Green Partners Fundが出資する株式会社アミカテラのプラスチック代替素材「modo-cell®」製のタンブラーをプレゼントします。

※modo-cell®はアミカテラの登録商標です。



コーヒー＆焼き菓子のセット 200名さま 担当者おすすめ

障がいのある社員が活躍する当社の企業内カフェ「café Challenged」の人気商品「コーヒードリップバッグ」と、「café Challenged」でも販売している社会福祉法人「AnnBee」が製造した「ドーナツとフィナンシェの詰め合わせ」をセットでプレゼントします。



キッズニア ペアチケット 50組100名さま

当社グループ会社のKCJ GROUP株式会社が運営する「キッズニア (KidZania)」のチケットをペア（大人1枚＋子ども1枚）でプレゼントします。

【利用可能場所】 キッズニア東京（東京都江東区）
キッズニア甲子園（兵庫県西宮市）
キッズニア福岡（福岡県福岡市）

【有効期限】 1年



※ご利用を希望される施設をアンケートフォームからご回答ください。※利用場所までの交通費は自己負担となります。※ご利用される場合は、事前に来場予約をお願いします。※株主さまご自身ではなく、ご家族さま（お子さまとお孫さまのペア）などでもご利用可能です。

注意事項

【1】当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。【2】プレゼントの写真はイメージです。また、都合により内容が変更となる場合がございます。【3】アンケートには株主番号の入力欄があります。同封の配当金計算書の右上に記載がございますのでご確認ください。【4】ご回答いただいた内容は、統計情報およびプレゼントの発送のほか、株主さま向けの活動充実のためにも使用させていただく場合がございます。【5】プレゼントは2026年1月下旬に発送予定です。長期不在などによりお受け取りできなかった場合、再送はいたしかねます。

株主さまアンケート [アンケート実施期間] 2025年12月5日(金)～2025年12月19日(金)

株主の皆さまの率直なご意見・ご感想をぜひお聞かせください。今後の株主通信制作などの参考にさせていただきます。
また、株主の皆さまからのご質問もアンケートフォームにて受け付けております。ぜひご質問をお寄せください。
いただいたご質問の一部は、次回株主通信の誌面でご回答させていただきます。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<https://www.e-kabunushi.com>

いいかぶ

検索

アクセスコード: **[9433]**



スマートフォン・携帯電話から



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

アンケートのお問い合わせ



「e-株主リサーチ事務局」 MAIL: info@e-kabunushi.com

企業ミュージアム・アートギャラリーのご紹介（事前予約制）

当社は東京都多摩市に「KDDI MUSEUM」と「KDDI ART GALLERY」をオープンし、6年目を迎えます。

「KDDI MUSEUM」は約150年間の日本の国際通信とKDDIの挑戦の歴史を実物の機器や資料で解説するほか、最新の5G/IoT技術も体験できる企業ミュージアムです。

「KDDI ART GALLERY」は「先端技術と芸術の出会い」をコンセプトに西洋絵画・日本画・ガラス工芸品など多様性に富んだ美術品を鑑賞いただけます。

株主の皆さまのご来館を心よりお待ちしております。



所在地：東京都多摩市鶴牧3-5-3 LINK FOREST 2階

KDDI 株式会社

〒108-8618 東京都港区高輪2丁目21番1号 THE LINKPILLAR 1 NORTH
(本店所在地：東京都新宿区西新宿二丁目3番2号)

<https://www.kddi.com/>



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。